



中田小

平成30年1月9日

学校教育目標

さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい
共に生きる力を育てます。

中田小ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/>

「笑う門には」

校長 蒲谷 猛

『あふれる笑顔 中田っ子』

作詞作曲： 創立50周年実行委員会

希望にあふれる
明るい笑顔
手を取り合って輪をつくろう
優しい気持ちが ふくらむよ
緑の風吹く 中田小学校

春には 桜 ちょうちよ
夏には プール 夏休み
秋には いちよう
もみじのダンス
冬には 雪合戦 雪だるま
輝く笑顔 な・か・だ

未来に羽ばたく
さわやか笑顔
声かけ合って夢つくろう
愉快で元気な仲間たち
優しい風吹く 中田小学校



年末年始、テレビでは多くの企業が自社の特徴やこれからの方針についてアピールすべく、キャッチーなコピーを駆使したCMを展開しています。映像や音楽と絶妙に組み合わせられたそれぞれの表現に感心させられたり、思わず考えさせられたり、なかなか秀逸な作品がたくさんあってCMだけでもかなり楽しめます。

「子どもは一日400回笑う。大人になると15回に減る。」某食品会社のCMのキャッチコピーは、決して新しい言葉ではありませんがその後に続く「あなたは今日、どのくらい笑いましたか？」という言葉には思わずはっとさせられました。

ある化粧品会社が20代から50代の日本人女性800名に、一日に何回笑っているかを調査したそうですが、その結果、成人女性の笑顔の回数は一日平均約13.3回、各年代別では、20代・30代が約15回、40代が12.8回、50代が10.6回 だったそうです。

大人は一日に子どもの1/3しか笑わないというこの言葉をとらえ直すと、大人が笑えば子どもはその3倍笑ってくれるとも考えられます。いくら子どもがよく笑うと言ったって、子どもの周囲にいる大人がしかめっ面をしていたら、笑うにも笑えません。子どもは笑顔でいるとき、自分の力を存分に発揮します。子どもと向き合う大人が笑顔でいることは、子どものよりよい成長に必ずやよい影響を与えることでしょう。多くの時間を子どもたちと共有する私たち教職員の笑顔について、改めて考えさせられました。年頭に当たり、今日から始まる本年も、笑顔あふれる学級・学年、笑顔あふれる学校にしていきたいという思いを強くしたところです。

某通信会社のキャッチコピーのなかには、「常識はずれでいいじゃないですか。チャレンジしたっていいじゃないですか。自分は自分でいいじゃないですか。」という言葉がありました。昨日と同じ今日、去年と同じ今年では、子どもたちは何の魅力も感じてくれません。そんな毎日では笑顔が増えるわけではないと思います。中田小の子どもたちの笑顔をバロメータとしながら、教育活動の改善と充実に邁進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。